

## 2021年度 HIV 感染症看護師実地研修会（看護師一ヶ月研修）の募集要項

### 1. 対象

現在勤務先医療機関等において、主として HIV 陽性者の外来看護に携わる実務担当者であり、研修修了後も継続的に看護等の実務担当者、指導者として携われる以下の者とする。

- 1) 診療報酬「ウイルス疾患管理料 2」の加算ができる施設（あるいは算定の方針である施設）の施設長が推薦する HIV/AIDS ケア担当看護師（候補者を含む）
- 2) 各ブロック拠点病院が主催する基礎的な知識を習得できる研修を修了している者
- 3) 研修修了後に HIV 陽性者の療養支援に継続して関わる者

### 2. 定員

2名程度

### 3. 研修日時

2021年9月27日（月）～2021年10月22日（金）

### 4. 実施場所

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター 3階 カンファレンス室  
〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター  
TEL 06-6942-1331  
FAX 06-6943-6467

### 5. 申し込み方法

受講者調書に、研修を希望する理由、HIV 陽性者の療養支援経験の有無(有りの場合、経験年数や患者数など)などを記載し、郵送で申し込みをお願い致します。\*書類選考があります。

受講者調書送付先

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

管理課 職員研修係長 小國

TEL 06-6942-1331

(申し込み書は、大阪医療センター内にあります HIV/AIDS 先端医療開発センターの研修案内のホームページからもダウンロードできます。 <https://osaka.hosp.go.jp/event/>)

### 6. 締め切り日 2021年7月25日（日）

\*定員に満たない場合は締め切りを延期する場合があります。

7. 決定通知 締切後 2 週間までに決定通知を送付いたします。

## 8. 研修目標

- 1) チーム医療における HIV コーディネーターナースの役割が理解できる
- 2) HIV 陽性者の外来療養支援が実践できる
  - ①初診時の対応（初診時の問診聴取）
  - ②患者教育（初期教育～予防教育や生活指導、継続受診への支援）
  - ③服薬支援
  - ④サポート形成支援（病名告白に関する人的支援、身障手帳紹介の経済的支援）
  - ⑤連携・調整（院内外含む多職種との連携、在宅療養支援）
- 3) HIV 陽性者を支える家族、パートナーへの支援が理解できる
- 4) 院内他職種との協働、調整が行える
- 5) 院外との連携による HIV 陽性者支援の実際が理解できる
- 6) 研修を基に自施設での自身の役割について考え、施設に応じた方法で役割の発揮を検討できる。

## 9. 研修内容

- 1) 講義（21コマ） 21 講義を講師と時間調整して実施

| 講義内容                 | 講師           |
|----------------------|--------------|
| HIV 診療の医療体制          | 感染症内科医師      |
| HIV 急性感染             | 感染症内科医師      |
| HIV 感染症と肝炎           | 消化器内科医師      |
| 日和見感染症診療             | 感染症内科医師      |
| HIV 感染症と眼科疾患         | 眼科医師         |
| 外来療養支援の実際            | HIV コーディネーター |
| 在宅療養支援の実際            | HIV コーディネーター |
| HIV 感染症の看護（病棟）       | 専門病棟看護師      |
| 女性と HIV              | 感染症内科医師      |
| HIV 陽性妊婦の看護支援        | 産科病棟助産師      |
| 針刺し事故による HIV 暴露後対策   | 感染症内科医師      |
| 薬害 HIV・血友病診療         | 感染症内科医師      |
| HIV 感染症とカウンセリング      | 臨床心理士        |
| 神経心理検査と事例検討          | 臨床心理士        |
| HIV 感染症と物質依存         | 医療相談室 MSW    |
| STD（性行為感染症）の診療       | 感染症内科医師      |
| HIV と歯科疾患            | 歯科医師         |
| HIV 感染症と皮膚科疾患        | 皮膚科医師        |
| HIV 陽性者の肛門疾患         | 外科医師         |
| 我が国における HIV 母子感染の現状  | 小児科医師        |
| 医療ソーシャルワーカーの役割と地域の課題 | 医療相談室 MSW    |

※2021年9月27日・28日のHIV感染症研修会、9月29日のコミュニケーション研修会  
プログラムに参加していただきます。

2) NPO 見学 (4 コマ)

|                              |
|------------------------------|
| 特定非営利活動法人 CHARM              |
| 特定非営利活動法人 MASH 大阪            |
| 特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権 (MERS) |
| HIV 検査・相談センター chotCAST 見学    |

3) 外来実習

4) 初診患者の問診聴取についてロールプレイを実施

5) 研修期間中、外来受診患者を約 30 症例担当し、そのうち 5 症例を最終日にケースレポートとしてプレゼンテーションを行う。

10. その他取り決め事項

- 1) 今回の研修は講義のみではなく、実際に患者さんの療養支援をしていただきますので、白衣、ナースシューズもご用意願います (ナースキャップは不要です)。
- 2) 長期間の研修となりますが、必ず全日程に参加可能な方を推薦していただきますようお願いいたします。
- 3) 研修にかかる費用については一切必要ありませんが、研修以外にかかる費用 (交通費、食費、宿泊費) については受講者自身で負担して下さい。
- 4) 本研修会は、日本エイズ学会認定看護師・指導看護師制度 指定研修となっています。指導看護師コーディネーターナース研修 (必須研修) の 20 点に相当します。
- 5) 研修修了者については修了認定証を交付いたします。

## 研修の参加における新型コロナウイルス感染症対策について

研修の開催にあたり、当センターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止について以下の対応・対策を行っております。何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ■研修に参加される前に

- ①以下の事項に該当する場合は、参加ができませんのでご了承ください。
- 体調が優れない場合（感染および感染が疑われる以下の症状がある場合）
    - ・37.5℃を超える発熱 ・咳 ・のどの痛み ・倦怠感(だるさ) ・息苦しさ ・嗅覚や味覚の異常
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - 開催日前14日以内で、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ②研修参加14日前より別紙の「研修受講者問診票」を記入し、研修当日の受付で必ずご提出ください。

### ■研修中の対策について

開催期間中は以下の項目についてご理解・ご協力をお願いします。

- 他の参加者との間隔は極力密にならないようにご協力ください(ソーシャルディスタンスの確保)。
- 必要以外の会話、大きな声での会話はできるだけお控えください。
- 当日はマスクを持参し、研修中は必ずご着用ください。
- 会場での昼食時、他の参加者の間隔をとり、食事時の会話はお控えください。食事摂取時以外は、速やかにマスクの着用をお願い致します。
- 咳エチケットやこまめな手洗い・手指消毒等にご協力ください。  
手指消毒用のアルコールを準備いたします。入室時等は必ずご使用ください。
- 会場の換気実施にご協力ください。
- 毎朝受付にて検温にご協力ください。
- 毎日、体調チェックシートをご記入いただき、必ずご提出をお願いします。
- 体調が優れない場合、会場にて参加をお断りする場合があります。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従ってください。

### ■研修終了後について

- 研修会終了後、14日以内に感染および感染が疑われる症状が発生した場合は、速やかに当センター職員研修部の担当者までご連絡ください。また、他の参加者や講師への情報提供についてご了承ください。

お問合せ先

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター

[TEL:06-6942-1331](tel:06-6942-1331)(代) 職員研修部 小國